

# いわた羅針盤

ら しん ばん

No.95

令和6年2月定例会



特集

カーボンニュートラルに向けた取組

## CONTENTS

- P 2 特集  
カーボンニュートラルに向けた取組
- P 4 2月定例会議案審議
- P 10 委員会審査
- P 12 一般質問（10人）
- P 18 トピックス
- P 19 ご意見紹介
- P 20 審議結果 ほか

# 特集 カーボンニュートラルに向けた取組

磐田市は、恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を市民や事業者と共に目指すことを表明しています。今回の特集は、先進的にカーボンニュートラルに向けて取り組んでいる企業をピックアップして、取組に対する思いや、今後の事業展開などについてお聴きしました。  
(取材日：令和6年1月26日、2月5日) (聞き手：市議会建設産業委員会 戸塚邦彦委員長・八木義弘副委員長)

——カーボンニュートラルに向けてどのような取組を行っていますか。



**関口** 私たちは微生物を用いたメタン発酵技術を使って、廃棄物の処理を行っています。ごみを燃やさない（二酸化炭素を排出しない）で分解でき、メタン発酵することによって、廃棄物からエネルギーを作ることができる取組を行っています。

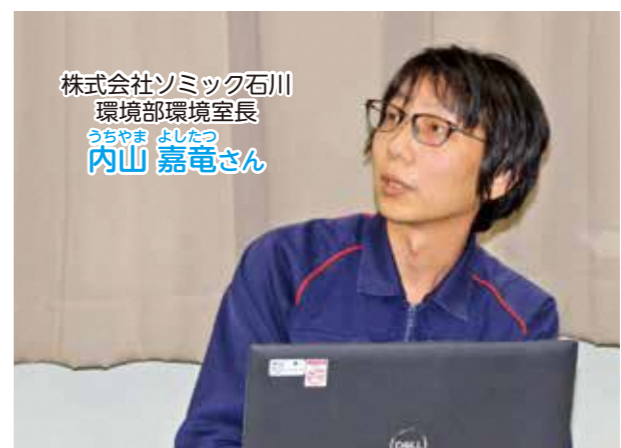


**鈴木** 森林には二酸化炭素を吸収する性質があるので、注目が集まっているので、育林事業という形で社有林を所有しています。また、天龍エコプロジェクトで、森林の循環利用を行って、森林の持つ多面的機能を次世代に引き継いでいく取組を行っています。



**内山** 省エネや再エネ採用に注力しております。省エネでは、製品製造に3工程必要であったものを1工程で完成できるようにし、二酸化炭素排出量を従来比で約33%削減しました。再エネでは、豊岡

工場の屋根に太陽光パネルを設置することで、この工場全体の約10%の二酸化炭素削減に成功しました。



——取組に至った経緯は。

**関口** 1977年、当社工場でクエン酸等需要の生産量増加に伴い廃液が増加しており、処理方法を探っていたところ、メタン発酵に出会うことができました。微生物を扱うメーカーだからこそ、当時、先端技術であったメタン発酵の導入にも踏み切ることができました。

し省エネや脱炭素といった、意識をさせることが、課題と感じます。



木材サンプル見学の様子

——市議会や行政に期待することはありますか。

**関口** これからはエネルギーの地産地消が形成されてくると思います。そういった意味では、地元の廃棄物を有効活用できる仕組みづくりについてご協力をお願いしたい。

**鈴木** カーボンニュートラルへつながる指導を行う専門家の紹介やセミナーの開催、カーボンニュートラルを推進するための取組に補

助金などをお願いしたい。  
**内山** 補助金や、設備投資を促すような仕組みをしていただくと、省エネに対する取組の気運が高まるので、そのようなところで協力をお願いしたい。



豊岡工場太陽光発電の様子

——2050年カーボンニュートラルを目指して、磐田市でも様々な取組を行っているところですか。取材を通して、事業所とも連携して、課題解決に向かっていく必要があると感じました。また、脱炭素社会実現には、一人ひとりの理解と行動が求められると感じました。

**鈴木** 古くから林業が盛んな天竜川地域として有名でしたが、この天竜川流域で治水植林事業に取り組んだ金原明善の教えから今の取組に至っています。  
**内山** 「期待の先へ、次世代の笑顔へ、BEA PIONEER」をスローガンに掲げて、環境に対して取り組むという方針を立てることがきっかけとなりました。

——課題と感じていることはありますか。

**関口** 全ての食品廃棄物を、将来的には燃やすのではなくメタン発酵できるように、取り組んでいきます。微生物も人間と一緒に健康管理が重要です。微生物が健やかに発酵できる環境整備が課題です。また、廃棄物を原料にした新しい燃料も研究開発しています。



**内山** カーボンニュートラルというのは、一人ひとりの意識を変えていかないと進まないもので、いかに自分事として、日々の業務に対


令和6年  
2月  
定例会

# 議案審議

会期 2月15日～3月22日 (37日間)

2月定例会の様子は、インターネットで録画配信しています。  
質疑や討論は内容を要約して掲載しています。  
詳しくは、インターネットの録画映像でご覧いただけます。

磐田市議会 配信 検索 クリック

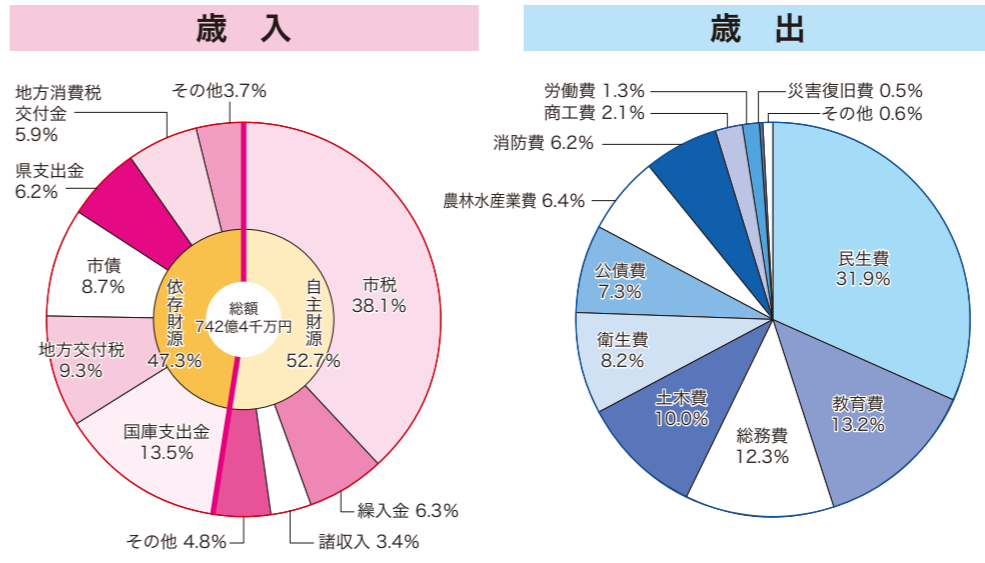


## 6年度各会計予算などを審議

2月定例会では、一般会計をはじめとした6年度各会計予算など、一般議案39件、人事議案1件のほか、議員発議の条例1件を審議しました。  
なお、すべての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

会派名の表記（人数）  
※6年3月22日現在  
「志」 志政会（9）  
「せ」 せいわ会（6）  
「新」 新磐田（3）  
「共」 日本共産党磐田市議団（2）  
「公」 公明党磐田（2）  
「創」 市民と創る磐田（2）  
「力」 磐田の底力（1）

## 【6年度一般会計予算額】 742億4,000万円



※四捨五入による端数処理のため、各区分の数値を合計した場合、合計欄の数値と一致しない場合があります。

## 6年度の主な取組

- 子どもたちの安心**
  - 子育て世帯等に対する家事支援事業の開始
  - 第3の教育支援センターの設置
  - 向陽学府小中一体校の整備推進
- 暮らしと健康の安心**
  - 救急情報シート利用促進
  - 障がい者の緊急時受入支援の充実
  - 路線バスキャッシュレス決済導入の補助
- まちづくりと防災への安心**
  - 豊岡支所庁舎の整備
  - 大規模盛土造成地の安全性把握調査の実施
  - 省エネ家電買替促進キャンペーンの実施
- 未来と仕事の安心**
  - 沿岸部の産業用地開発可能性基本調査
  - フィリピン（ダグバン市）・タイとの交流事業
  - 遠江国分寺跡の整備
- 安心できる市役所づくり**
  - 「書かない・行かない」窓口の本格運用
  - デジタルデバイド対策の推進
  - ファシリテーターの養成・支援活動

6年度一般会計予算は、5年度当初予算に比べ5.9%増の742億4千万円となりました。向陽学府小中一体校の整備の推進や中東遠消防指令センター高機能消防指令システムの全更新、豊岡支所の整備などにより普通建設事業費が大幅に増額になることや、児童手当など扶助費の増額等により、5年度に続き過去最大の予算規模となりました。

（賛成・志、せ、新、公、創、力 反対・共）

議案第8号  
**6年度一般会計予算**  
賛成多数で可決

一般会計予算に対する討論がありました

反対

### 放課後児童クラブの民営化に 問題あり

公立の放課後児童クラブ全50クラブを7年度から全面民間委託化することは公的責任の放棄であり、多くの問題点がある。

学校給食費の食材費高騰分を保護者負担に転嫁している。恒久的支援、無償化こそが求められている。向陽学府小中一体校ではなく、小規模校の維持を政策に掲げること、安心して子育てできる環境をつくることになる。通学条件の悪化、学校プールを作らないことは問題である。

浜岡原発の再稼働問題では「現時点では反対」から「賛成でも反対でもない」と大きく後退している。地震・津波国の日本の原発はあまりにも危険である。

児童館を全て廃止したことは問題である。一方で複合的機能をもつ施設の検討がまだに方向性が見えない。(旧)市民文化会館の利活用についても同様である。市長のリーダーシップが問われている。

日本共産党磐田市議団 根津康広 議員

賛成

### みんなでつくる！共創予算

過去最大規模となった要因は、普通建設事業費が大幅に増額となること、国の交付金を活用した物価高騰対策事業や、扶助費・人件費などの増額計上であることを確認した。歳入は、自主財源の約7割以上の割合を占めている市税、中でも法人市民税は業績が堅調に推移すると見込まれる法人があることから5億1706万1千円の増、固定資産税は、家屋の新増築等による増額見込みなどで、全体では8億664万7千円増の283億209万7千円の計上となっている。歳出は3つの重点戦略を掲げ「みんなでつくる！共創予算」として市民の安心を土台に幸せと誇りを実感できる、将来に希望が持てる持続可能なまちを目指した予算であることが分かる。また、子どもをど真ん中に、高齢者に優しく暮らしに安心ができ、将来へ向け価値を創造する、安心を最優先した事業を高く評価する。

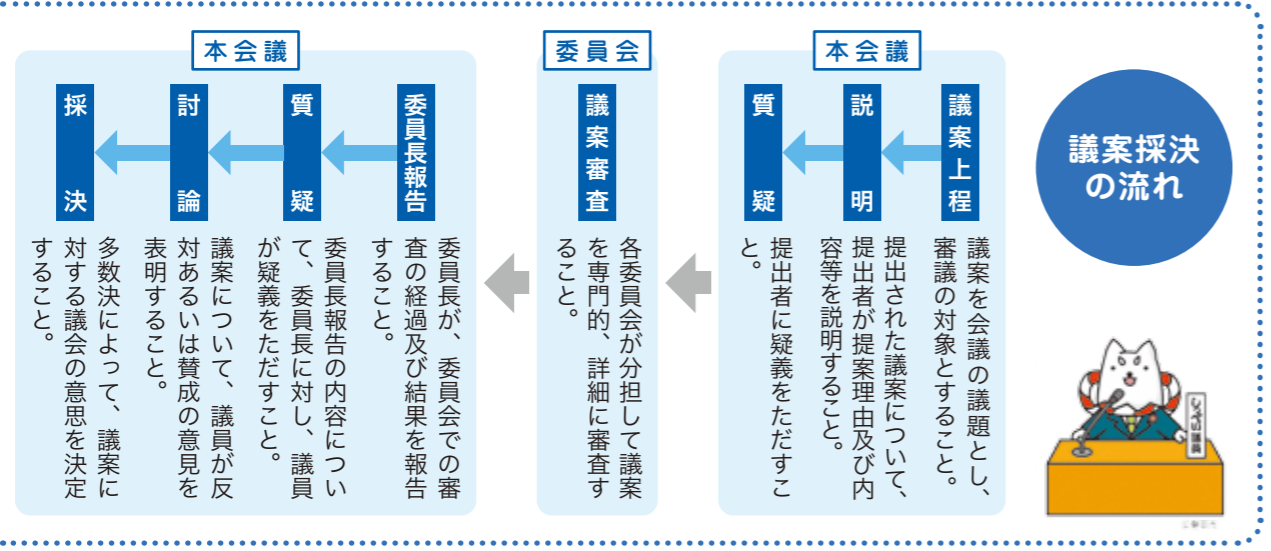
志政会 小柳貴臣 議員

賛成

### 安心できるまち、 人が集まる磐田市

一般会計予算は、過去最大規模となったが、基金残高の確保、市債残高の抑制が図られており持続可能な財政運営予算であると考える。6年度は3つの重点戦略を掲げ、「働く場所・雇用の共創」「住みたくなる・集まりたくなるまちに向けた共創」「新たな価値・魅力の共創」と、講演会やワークショップをはじめとした「学びと対話」の積み重ねが、公民連携など「共創」につながっていくと考えられることから、「共創」を意識した中で様々な取組が進められること、更に、これまで検討を重ねてきた「(仮称)磐田市みんなが主役のまちづくり条例」の制定が予定されており、共創につながることを期待する。これまでの継続する事業と、それぞれの戦略施策は、幅広い世代の市民に対してバランスが取れた予算で、安心できるまち、人が集まる磐田市に向けた施策が進められることを期待する。

新磐田 加藤文重 議員



議案 第10号

6年度国民健康保険事業特別会計予算

賛成多数で可決

予算の総額は、5年度に比べ5.9%減の148億8803万6千円となりました。保険給付費、国民健康保険事業費納付金や保健事業費など、国民健康保険事業に必要な経費を計上したもので、主な財源は、保険税、県からの交付金や一般会計及び国民健康保険事業基金からの繰入金です。

(賛成：志・せ・新・公・創・力 反対：共)

本会議での主な質疑

問 国保加入者の加入世帯の所得状況と6年度での保険税率改定の影響は。

答 6年度の被保険者一人あたりの保険税額が約97400円となり、前年度予算と比較して約5500円の増加を見込んでいます。

問 保険給付費等交付金の保険者努力支援分が前年度予算より減っているが、評価指標の変更は。

答 「特定健康診査受診率・特定保健指導実施率等」や「発症予防・重症化予防の取組」などの指標において、配点が減となったことに加えて、「医療費通知の取組」の指標における評価方法が変更になったことなどにより、全体の配点が5年度の940点から6年度は840点に変更されている。

討論がありました

反対 国保制度の根本的問題点を指摘 今回の改定では、一人当たり約5500円の値上げになる。国民健康保険税の18歳以下子どもにおける均等割の拡充策が検討されておらず、国や県に財政措置を求めながら市として独自に検討することが必要と考える。

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

賛成 実状に即した予算編成

人口減少、被保険者数の減少などという状況の中、国民健康保険の保健事業の維持、改善を目指し、将来に向け、高齢化社会に適応しながら、安定した国民皆保険制度を維持するための、実状に即した予算編成であると判断する。

せいわ会 本間昭男 議員

議案 第11号

6年度 後期高齢者医療事業特別会計予算

賛成多数で可決

予算の総額は、5年度に比べ18.8%増の26億7319万7千円となりました。後期高齢者医療事業の円滑な運営のため、広域連合納付金等の必要な経費を計上したもので、主な財源は後期高齢者医療保険料及び一般会計からの繰入金です。

(賛成：志・せ・新・公・創・力 反対：共)

本会議での主な質疑

問 後期高齢者医療保険料改定の影響は。

答 6年度の被保険者一人あたりの保険料額が約8万円となり、前年度予算と比較して約9500円の増加を見込んでいます。

問 前年度より特別徴収割合が減り、普通徴収割合が増えている理由は。

答 後期高齢者医療に加入した初年度は、一定期間普通徴収になることから、いわゆる団塊世代の方が75歳になることにより加入者数が増えている現状では、普通徴収の割合が増えることになる。

討論がありました

反対 保険料率の引上げに反対 年間約1万円の大引き上げは医療の抑制につながり問題である。高齢者の多くは定期的な受診が必要な病気を抱え、貯蓄や生活費を削り何とか受診しており、保険料をこれ以上引き上げることは命を脅かすもので到底容認できない。

日本共産党磐田市議団 根津康広 議員

賛成 持続可能な制度

今回の制度改正は、高齢者医療制度を支えている現役世代の負担を抑え、低所得者に対する負担軽減判定所得の見直しも行われた内容で、全ての世代で支え合う持続可能な制度として、必要な予算であると判断した。

志政会 芦川和美 議員



議案 第12号

6年度介護保険事業特別会計予算

賛成多数で可決

予算の総額は、5年度に比べ1.5%増の140億7385万5千円となりました。介護保険事業計画に基づき、在宅及び施設における介護サービスの充実に伴う介護給付費等を見込んだものです。

(賛成：志・せ・新・公・創・力 反対：共)

本会議での主な質疑

問 介護保険料改定の影響は。

答 6年度から8年度までを期間とする第9期介護保険事業計画の保険料基準額を月額5600円とし、13段階までの保険料所得段階を設定したことにより、当初予算ベースと比較すると、前年度比で年間約2億7千万円の保険料の増収が見込まれる。一人当たりの影響額は、基準所得段階である第5段階で月額6000円の増額となる。

問 地域リハビリテーション活動支援事業での、フレイルになり始めた高齢者の把握は。

答 6年度は、新規の総合事業対象者をサービス対象としていることから、まずは、地域包括支援センターにいられた高齢者から把握を行っていききたい。

討論がありました

反対 国に制度改善の要望を 介護保険事業の最大の問題は、国の負担割合が25%という低い水準にとどまっていることである。市民に負担を強いるのではなく、国が責任を果たすよう強く要望すべきである。国に対して制度の改善を強く求め、本予算に反対する。

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

賛成 新たな事業を評価

事業の円滑な運営、安定的なサービス給付のための計画的な基盤整備、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組など、具体的な事業実施への流れができています。新たな取組である介護予防強化事業についても評価できる。

志政会 永田隆幸 議員

6年度 各会計予算

一般会計				
会計名	令和6年度	令和5年度	増減	
一般会計	742億4,000万0千円	701億1,000万0千円	41億3,000万0千円	
特別会計				
会計名	令和6年度	令和5年度	増減	
国民健康保険事業会計	148億8,803万6千円	158億2,649万4千円	△9億3,845万8千円	
後期高齢者医療事業会計	26億7,319万7千円	22億5,030万2千円	4億2,289万5千円	
介護保険事業会計	140億7,385万5千円	138億6,213万4千円	2億1,172万1千円	
その他の特別会計※	8,905万4千円	8,700万4千円	205万0千円	
企業会計				
会計名	令和6年度	令和5年度	増減	
水道事業会計	収益的収入	29億8,293万8千円	30億1,565万5千円	△3,271万7千円
	支出	28億3,287万4千円	27億9,272万8千円	4,014万6千円
下水道事業会計	収益的収入	64億901万1千円	64億2,282万8千円	△1,381万7千円
	支出	63億838万5千円	61億5,605万8千円	1億5,232万7千円
病院事業会計	収益的収入	200億7,524万1千円	195億2,424万9千円	5億5,099万2千円
	支出	207億6,266万1千円	201億1,468万4千円	6億4,797万7千円

※その他の特別会計には、駐車場事業、4財産区の各特別会計の合計額を記載しています。  
 収益的収支…収益的収入は、水道事業の水道料収入、下水道事業の下水道使用料収入、病院事業の入院・外来の診療収入などをいいます。  
 収益的支出は、職員給与や材料費、光熱水費などをいいます。  
 資本的収支…主に施設を整備・拡充するために必要な経費と財源をいいます。

議案  
第23号

### 国民健康保険税条例の一部改正

賛成多数で  
可決

これは、5年11月17日に提出された、「磐田市の国民健康保険事業の運営に関する協議会」からの答申を踏まえた税率等の変更を行い、事業の健全な運営を図るため改正するものです。（賛成：志・せ・新・公・創・力 反対：共）

#### 本会議での主な質疑

**問** 改正の効果と今後の改正の見通しは。

**答** 改正の効果は、5年度当初予算では約7・2億円あった歳入不足額が6年度当初予算では約5・4億円となり、被保険者の減少分と合わせて約1・8億円削減できる見込みである。今後は、国や県の制度改正等を注視し、毎年度、財政検証を行いながら、8年度以降の税率改定については、7年度中に再度検討する。

#### 討論がありました

#### 反対 住民に負担増を求めるもの

国保の都道府県化に伴う保険税の改定である。  
厚生労働省は、「都道府県化は住民に負担増を求めるものではない」と言いながら、実際は、住民への負担増になることから、条例の一部改正に反対する。  
日本共産党磐田市議員 高梨俊弘 議員

#### 賛成 国、県の方針に沿った内容

税率改定では、県の運営方針に沿った賦課方式に向けて、資産割を段階的に廃止する内容となっている。被保険者の負担に配慮し、国、県の方針に沿った内容であり、段階的かつ着実に前に進む取組内容であると判断した。  
公明党磐田市議員 江塚 学 議員



#### 賛成 国民健康保険事業の健全な運営

段階的に税率と賦課方式の改定を行うことで、約1・8億円削減できる見込みで、国民健康保険事業の健全な運営と継続を図る。また、一般会計からの繰入抑制につながることから、全市民のためになる改正と考える。  
せいわ会 鈴木正人 議員

議案  
第24号

### 介護保険条例の一部改正

賛成多数で  
可決

これは、第1号保険者の介護保険料の改定を行い、事業の健全な運営を図るため改正するもので、介護保険料の基準額を見直し、保険料所得段階及びその料率を改定するものです。（賛成：志・せ・新・公・創・力 反対：共）

#### 本会議での主な質疑

**問** 今回の改定の目的と、本市の介護保険料の基準額の算定根拠は。

**答** 3年ごとに見直される介護保険事業計画の計画期間中の事業の安定的な運営のために改定を行う。6年度から8年度までの第1号被保険者数や介護認定者数の見込みから、3年間で必要となる給付費を見込み、給付費の23%に当たる額を介護保険料と推計し、基準額を月額5600円と算定した。

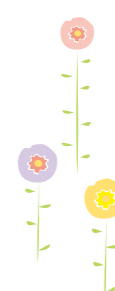
#### 討論がありました

#### 反対 市民に負担を強いる改正

介護保険料の値上げは、物価が上がり年金が増えない中で、ますます生活が大変になってきているうえに、更に生活が困難になることが予想される。介護保険事業の充実と財政改善のため市民に負担を強いる条例改正には反対する。  
日本共産党磐田市議員 高梨俊弘 議員

#### 賛成 事業の持続に必要不可欠

介護給付費準備基金の活用で保険料の上昇を抑制し、所得段階の多段階化で能力に応じた負担としている。低所得者には減額賦課が適用され、配慮がされている。保険料の改定は、事業の持続可能性確保のため必要不可欠である。  
公明党磐田市議員 江塚 学 議員



#### 賛成 安定的運営のための改定

本市では、介護保険料は過去9年間据え置かれており、6年度以降、紙おむつ助成や施設整備、介護職員処遇改善のための報酬改定など、経費増加が想定される。保険料の値上げは、事業の安定的運営には受忍すべき範囲内と考える。  
せいわ会 鈴木正人 議員

議案  
第28号

### 市営住宅条例の一部改正

全会一致で  
可決

これは、市営住宅が住宅セーフティネットとしての役割を的確に果たすため改正するもので、連帯保証人及び単身要件に係る規定を削除するものです。

#### 改正の主な内容

●単身入居要件を廃止するため、老人等に関する規定を削るものです。また、連帯保証人を廃止するため、入居手続きのうち連帯保証人に関する規定を削るものです。

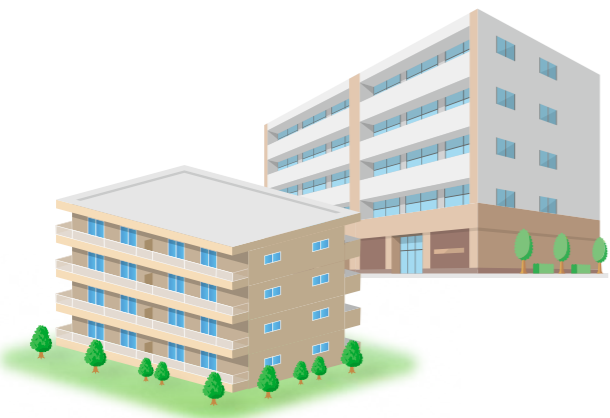
#### 本会議での主な質疑

**問** 入居者の家賃が滞納状態になった場合の対応は。

**答** 入居者本人に適切な督促を行うことで、連帯保証人に頼らず、長期滞納の未然防止に取り組んでいる。また、連帯保証人の廃止後も、引き続き、入居者本人の事情を聴き取り、滞納の未然防止を図っていく。

**問** 現在の入居者で適当な連帯保証人がなく、入居し続けることが困難な入居者に対する対応は。

**答** 今回の改正により、現在の入居者も所定の手続きをすることで、連帯保証人を確保する必要がなくなる。この手続きは、安心して市営住宅に入居し続けていただけるよう、入居者全員に案内する予定である。



議案  
第1号

### 健幸づくり及び地域医療を守り育てる条例の制定

全会一致で  
可決

これは、「市民が健康で、生涯にわたり安心して暮らすことができる健幸長寿社会の実現」を目的とし、4年度に、民生教育委員会が所管事務調査の成果として作成した条例案を基に、同委員会の所管外にわたる範囲についても、「(仮称)健幸づくり及び地域医療条例」検討特別委員会において、改めて検討を行い、制定するものです。

#### 条例の主な内容

- 前文 条例制定の背景や趣旨について明らかにし、「磐田市民が健康で、生涯にわたり住み慣れた地域で安心して、幸せに暮らすことができる健幸長寿社会」の実現を目指す決意を表明しています。
- 基本理念 健幸づくりを社会全体で支援すること、地域医療を地域全体で守り育てていくこと
- 市民の役割 日常の健康管理や定期的な健診の受診、「運動・栄養・社会参加」の必要性や、医療との関わり方など
- 市民活動団体及び事業者の役割 健康経営への取組、他者との連携、地域への協力
- 医療機関の役割 在宅医療の充実、関係機関との連携など
- 市の責務 施策の推進や、関係機関との連携・支援、市立総合病院の役割
- 議会の責務 市への提言、国や県への働きかけや、本条例の周知・検証など
- 感染症に対する取組 適切な感染防止対策の励行、感染者等への思いやりのある冷静な行動に努めること
- 条例の施行日 6年4月1日



▲詳しい内容は  
こちら



# 委員会審査

議会では、委員会を設置し議案を詳細に審査しています。その内容の一部をお知らせします。

## 予算決算委員会

■委員長：松野正比呂 ■委員：議長を除く全議員  
■副委員長：根津康広

### 6年度一般会計予算

#### 【歳入21款 諸収入】

**問** 地域クラブ参加費負担金の内容は。

**答** SPO☆CUL IWA TAの地域クラブ参加費は、月会費1人2000円、1クラブ約30人で10クラブが創設される見込みから、720万円の予算を計上した。また、生活困窮世帯等の支援は課題と認識しており、参加費の減免等を検討していく。

#### 【歳出2款 総務費】

**問** 地域おこし協力隊の活動内容は。

**答** 5年度に初めて1人を採用し、豊岡地区で活動して頂いた。森林・農業の知識や資格の取得、地域を回り人脈づくりに励んで頂いた。6年度は、各地域のイベントに入り込んで一緒にやっていくことに加え、本人が主催するイベント回数も増やし、外向きに自分を出していきたいよう、市がサポートしていきたい。

**問** 旧豊岡東小学校ランチルームの空調設備工事を計画した経緯は。

**答** ランチルームを活用して地元の方が自主的に避難している。ここは土砂災害警戒区域に当たるが、将来的には県で砂防堰堤工事を進める予定であり、完成後には、指定緊急避難場所にしたいため、前段階として工事を行う。



#### 【歳出3款 民生費】

**問** 第4期障害者計画での取組は。

**答** 就労支援の充実、障害者施設から物品を買う優先調達に力を入れていきたい。がんばる企業応援団の企業訪問時にチラシを持参し、障害者就労についての理解を広めるとや、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター等の関係機関と協力し、企業や障

がい者を支援していく。

**問** 6年度の保育園等の職員数と配置基準は。

**答** 保育園と幼保連携型認定こども園では、正規職員74人・会計年度任用職員111人を予定している。法改正が行われ、3歳児15対1、4・5歳児25対1の配置基準になるが、猶予期間を設けると聞いており、6年度は、短時間職員等を配置し、子どもに関わる職員の数が15対1、25対1になるよう調整している。

**問** 生活保護法定援護事業の増額理由は。

**答** 基準改定による増額分が約1500万円である。医療扶助費の単価と医療扶助に該当する人数の上昇で、約7600万円の増額になっている。世帯数は、4年度が498世帯、5年度が528世帯と増加傾向にあり、その増額分も見込んだ予算計上である。

#### 【歳出4款 衛生費】

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種による健康被害への対応は。

## 総務委員会

■委員長：秋山勝則 ■委員：平田直巳、小栗宏之、江塚学、芥川栄人  
■副委員長：小柳貴臣 ■委員：高梨俊弘、岡 貴

### 市税条例の一部改正

#### 議案の内容

●能登半島地震により住宅や家財等に損失が生じた場合に、6年度分の個人市民税の雑損控除の適用対象にできる特例を設けるもの

**問** 特例の該当要件は。

**答** 市県民税の課税対象として、6年1月1日現在、本市に住民票がある、または実際に居住していたことが確認できた場合で、本人または扶養親族が所有する住宅や家財が6年能登半島地震で被災したケースが該当する。

**問** 損害額を控除する年は選択できるか。

**答** 5年分と6年分のどちらの所得に損害額を適用させるかは、申告者が有利な方を選択できる。

**問** 損害額は繰越できるか。

**答** 6年能登半島地震は特定非常災害に指定されているため、損害額が5年分の所得から引ききれなかった場合は、5年間は損失を繰り越すことができる。

### 子育て支援センター条例の一部改正

**問** 磐田北幼稚園内の設置場所と利用見込みは。

**答** 磐田北幼稚園の空き教室の保育室1教室を活用する。利用見込みは、ほかの子育て支援センターの状況を鑑みて1日10組から20組と想定している。どのエリアの支援センターも利用できるので分散して利用していただくと考えている。

**問** 市立学校設置条例の一部改正

**問** 学校名を決めるまでの経過は。

**答** 4年10月に向陽学府小中一体校開校準備委員会を設置し、向陽学府3地区に対し、全世帯にアンケートを配布した。回答の結果、80%以上が「向陽小学校がよい」という意見であり、準備委員会が教育長に校名についての要望書を提出した。今後、校章や校歌の検討をしていく。

## 予 算 決 算 委 員 会

■委員長：松野正比呂 ■委員：議長を除く全議員  
■副委員長：根津康広

### 6年度一般会計予算

#### 【歳入21款 諸収入】

**問** 地域クラブ参加費負担金の内容は。

**答** SPO☆CUL IWA TAの地域クラブ参加費は、月会費1人2000円、1クラブ約30人で10クラブが創設される見込みから、720万円の予算を計上した。また、生活困窮世帯等の支援は課題と認識しており、参加費の減免等を検討していく。

#### 【歳出2款 総務費】

**問** 地域おこし協力隊の活動内容は。

**答** 5年度に初めて1人を採用し、豊岡地区で活動して頂いた。森林・農業の知識や資格の取得、地域を回り人脈づくりに励んで頂いた。6年度は、各地域のイベントに入り込んで一緒にやっていくことに加え、本人が主催するイベント回数も増やし、外向きに自分を出していきたいよう、市がサポートしていきたい。

**問** 旧豊岡東小学校ランチルームの空調設備工事を計画した経緯は。

**答** ランチルームを活用して地元の方が自主的に避難している。ここは土砂災害警戒区域に当たるが、将来的には県で砂防堰堤工事を進める予定であり、完成後には、指定緊急避難場所にしたいため、前段階として工事を行う。



#### 【歳出3款 民生費】

**問** 第4期障害者計画での取組は。

**答** 就労支援の充実、障害者施設から物品を買う優先調達に力を入れていきたい。がんばる企業応援団の企業訪問時にチラシを持参し、障害者就労についての理解を広めるとや、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター等の関係機関と協力し、企業や障

がい者を支援していく。

**問** 6年度の保育園等の職員数と配置基準は。

**答** 保育園と幼保連携型認定こども園では、正規職員74人・会計年度任用職員111人を予定している。法改正が行われ、3歳児15対1、4・5歳児25対1の配置基準になるが、猶予期間を設けると聞いており、6年度は、短時間職員等を配置し、子どもに関わる職員の数が15対1、25対1になるよう調整している。

**問** 生活保護法定援護事業の増額理由は。

**答** 基準改定による増額分が約1500万円である。医療扶助費の単価と医療扶助に該当する人数の上昇で、約7600万円の増額になっている。世帯数は、4年度が498世帯、5年度が528世帯と増加傾向にあり、その増額分も見込んだ予算計上である。

#### 【歳出4款 衛生費】

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種による健康被害への対応は。

## 予 算 決 算 委 員 会

■委員長：松野正比呂 ■委員：議長を除く全議員  
■副委員長：根津康広

### 市税条例の一部改正

#### 議案の内容

●能登半島地震により住宅や家財等に損失が生じた場合に、6年度分の個人市民税の雑損控除の適用対象にできる特例を設けるもの

**問** 特例の該当要件は。

**答** 市県民税の課税対象として、6年1月1日現在、本市に住民票がある、または実際に居住していたことが確認できた場合で、本人または扶養親族が所有する住宅や家財が6年能登半島地震で被災したケースが該当する。

**問** 損害額を控除する年は選択できるか。

**答** 5年分と6年分のどちらの所得に損害額を適用させるかは、申告者が有利な方を選択できる。

**問** 損害額は繰越できるか。

**答** 6年能登半島地震は特定非常災害に指定されているため、損害額が5年分の所得から引ききれなかった場合は、5年間は損失を繰り越すことができる。

### 子育て支援センター条例の一部改正

**問** 磐田北幼稚園内の設置場所と利用見込みは。

**答** 磐田北幼稚園の空き教室の保育室1教室を活用する。利用見込みは、ほかの子育て支援センターの状況を鑑みて1日10組から20組と想定している。どのエリアの支援センターも利用できるので分散して利用していただくと考えている。

**問** 市立学校設置条例の一部改正

**問** 学校名を決めるまでの経過は。

**答** 4年10月に向陽学府小中一体校開校準備委員会を設置し、向陽学府3地区に対し、全世帯にアンケートを配布した。回答の結果、80%以上が「向陽小学校がよい」という意見であり、準備委員会が教育長に校名についての要望書を提出した。今後、校章や校歌の検討をしていく。

## 民生教育委員会

■委員長：鳥居節夫 ■委員：本間昭男、山下千賀子、永田隆幸  
■副委員長：鈴木正人 ■委員：芦川和美、松野正比呂、根津康広

磐田市の将来を見据えた「農村地域や農業振興のビジョン」について／社会教育と生涯学習について



一 質 問

志政会 永田隆幸 議員



農村地域や農業振興のビジョン

**問** 市街化調整区域内における優良農地の保全と、農村地域維持の考えは。

**答** 優良農地を守りながら、担い手の生産環境の充実に努めたい。また、コミュニティ形成に必要な人口を維持するため、線引き前宅地の要件の運用を緩和するとともに優良田園住宅制度の導入に向けて取り組んでいる。今後も農村地域の活力を高めていきたい。

**問** 厳しい環境にある茶やメロンの経営の現在までの取組と今後の対応は。

**答** 経営課題や将来ビジョンについてお茶生産者から直接伺い、新たな特産物産地形成事業の制度設計の参考にしたい。今後も農業者の声を施策に反映できるよう努める。また、磐田茶振興協議会や静岡県温室農業協同組合磐田支所が行う生産振興や販売、消費拡大PRに関わる活動を引き続き支援し市としてもイベント等を通じPRに努める。



多様化する社会環境における課題／まちづくりの取組／職員の働き方の取組



一 問 一 答

新磐田 松野正比呂 議員



多様化する社会環境と課題

**問** 静岡県パートナードシップ宣言制度の運用実績と課題は。

**答** 県公表の宣言件数は5年5月末現在34件で、市には2件の問合せがあった。課題は県制度を運用する市町と独自制度を運用する市町をまたぐ県内異動の場合に再度手続きが必要になることである。

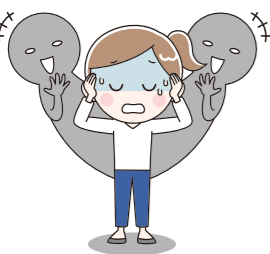
まちづくりの取組

**問** 市内ウォーキングコースの設定と発信の進捗、課題は。

**答** 観光協会ホームページにウォーキングマップの追加等を行った。課題はコース数が少ないことやバリエーションの不足である。6年度は観光協会のホームページの改修にあわせ、コースの増設やマップ内容の充実等見直しを行う。

**問** 磐田市みんなが主役のまちづくり条例(案)の実効性を高めるための周知啓発は。

**答** 6年度はまちづくりワークショップを計画し、条例の周知を兼ね市民とともにリーフレットの作成に取り組む。



市政を問う

一般質問

要旨

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。2月定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。発言した順番で主な内容をお知らせします。

一般質問は内容を要約して掲載しています。詳しくは、インターネットの録画映像をご覧ください。

磐田市議会 配信

検索

防災とライフラインの整備について／放課後児童クラブの民間委託と公的責任／磐田市の諸課題



一 問 一 答

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員



防災とライフラインの整備

**問** 水道事業における管路の耐震化の現状と課題は。

**答** 基幹管路の耐震化率は3年度末で73・4%、管路総延長に対する耐震化率は5年度末で24・5%の見込みで、課題は財源の確保である。

**問** 下水道事業における耐震化の進捗状況と今後の計画は。

**答** 県が指定する1次緊急輸送路の耐震化は完了し、2次緊急輸送路の5年度末の進捗率は77・5%となる。2次緊急輸送路は7年度までに完了させ、市指定緊急輸送路等は、8年度から始まる地震対策計画により取り組む予定である。

放課後児童クラブの民間委託

**問** 民間委託化を検討するに至った経緯、理由は。

**答** 安定的な運営体制とサービス拡充を検討してきた。ノウハウのある民間事業者への委託で管理運営体制を整えていく必要があると考えている。

**問** 民間に運営を任せるといふ自治体の判断は「公的責任の放棄」と考えるが、見解は。

**答** 市の責任で民間事業者が適切に運営していることを確認し、互いに協力して児童が心身ともに健やかに育成される環境を維持していきたい。

市の諸課題

**問** 公共施設への太陽光発電システム導入の調査と結果は。

**答** 主に電力使用や市民の利用の多い施設を選定し、設置場所や発電量等を調査した。その結果、6年度は市立総合病院駐車場にソーラーカーポートを整備する予定である。

**問** 旧市民文化会館及び文化振興センター跡地の利活用の協議内容と今後の方向性は。

**答** 情報収集や事例等を調査し検討した。新たな課題等が生じたため、6年度以降も時間をかけて検討していきたい。



職員の働き方

**問** 時間外勤務及び有給休暇取得の現状と改善策は。

**答** 5年度の時間外勤務は6年1月末現在1人あたり月平均5・5時間で、月100時間を超えた産業医との面接者は13人である。5年中の有給休暇取得平均日数は13・4日である。人事評価面接や月一年休の取組等により改善を図っている。

**問** 職員のハラスメントの現状と対応は。

**答** 5年度の職員アンケートでハラスメントを受けたという回答が53件あり、庁内にハラスメント苦情相談窓口、庁外に心の相談室を設置して対応している。なお、5年度に庁内の相談窓口で6件の相談があり全て対応済である。

## 能登半島地震と災害に強いまちづくりについて 障害者権利条約に基づいた施策の推進を



問  
答

日本共産党磐田市議団 根津 康 広 議員



### 災害に強いまちづくり

**問** 能登半島地震の災害を受けて、被災者救援と復旧・復興における現状をどのように受け止め、災害に強いまちづくりを進めるか。

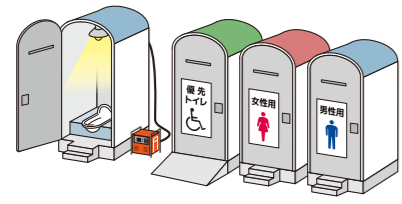
**答** 道路の障害物除去の遅れなどから公助が届かなかったことを重く受け止めている。早期の受援体制の構築やライフラインを早期復旧する体制づくりも重要と考えている。

**問** 緊急消防援助隊などの支援活動を通して本市に活かされるべき防災・減災対策は。

**答** 支援部隊の活動拠点や宿営地の確保など受援体制の整備の必要性や支援者用としてトイレトラックの活用や簡易トイレの備蓄の必要性が明確となったため、本市の防災対策に活用したい。

**問** 避難所トイレの洋式化など環境整備の充実策は。

**答** 常設トイレのうち一か所は洋式であり、多機能トイレ又は車椅子対応型仮設トイレを備蓄している。衛生管理が最重要課題と考え、排処理の備蓄を順次進めている。



**問** 浜岡原発広域避難計画の見直しを県に求める考えは。

**答** 県には今回の災害を検証していただき、より実効性のある計画を示していただくよう要望していく。

**障がい者施策の推進**

**問** 雇用支援等の取組内容と企業等を含めた体制づくりは。

**答** 5年度から障害者就労相談窓口を設置し、支援機関と連携しながら相談から定着までの伴走支援を行っている。

**問** 入所施設の待機状況と施設増設等の対応は。

**答** 待機者は31名で減少傾向である。施設の増設は補助金もなく難しい。今後は、障がい者やご家族が安心できる住まいの確保を検討したい。

## みんなを守る磐田の防災



問  
答

市民と創る磐田 鈴木 弥 栄 子 議員



**問** 避難後に津波避難施設に滞在できる備蓄や屋根等の整備改修に対する考えは。

**答** 避難タワーへの備蓄倉庫の設置について検討したい。また、風雨をしのぐ環境は必要と思うので今後研究したい。

**問** 生理用ナプキンなどの衛生用品の備蓄状況は。

**答** これまで備蓄をしていなかったが、6年度から生理用品を3日間分、約2万4千枚を5年位かけて整備していく。

**問** 内閣府の「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」のチェックシートを活用できるように自主防災会へ周知することへの見解は。

**答** 本市の避難所運営マニュアルにも女性の視点を取り入れるためのチェックシートを掲載し周知している。これには備蓄品はあまり入っていないため、今後女性の意見を聞き、取り入れられるものは入れていきたい。

**問** 市職員等の健康を守りながら、現在の正規職員数で南海トラフ巨大地震の被害想定に対応できるのか。見解は。

**答** 必要な正規職員数をあら



かじめ想定して確保することは困難であり市民の自助や共助が不可欠と考える。職員が災害対応に従事できるように受援体制づくりに努めていく。

**問** 介護職員等を災害時の過重労働から守るための施策は。

**答** サービス提供事業者と必要とする支援内容を共有し、物資や情報の提供を行うほか、状況に応じて国、県と連携してサポートしたい。

**問** 避難所で炊き出しや避難所運営に関わる人たちへ、対価を支払うことへの見解は。

**答** 避難所は避難者自らが運営することが基本のため、現時点では対価を支払うべきものではないと考えている。

## 大規模災害への備え 緑十字機不時着の史実について



問  
答

せいわ会 本間 昭 男 議員



### 大規模災害への備え

**問** 市が所有する公共建築物や自治会等施設の耐震化状況と課題は。

**答** 公共建築物の耐震化率は5年3月末現在96.1%で、自治会等施設は昭和56年以前に建築された自治会公会堂の耐震状況を調査するとともに、補助制度の周知を強化し、耐震化率向上に努める。

**問** 予想される被害、復旧までの期間とその間の給水方法は。

**答** 南海トラフ巨大地震レベル2で被災した場合は、ほぼ市内全域が断水し、復旧完了は発災後おおむね6週間程度を目標としている。応急給水は給水車のほか、仮設配管での応急対応も計画している。

**問** 簡易水道が被災した場合の市の具体的な対応は。

**答** 施設が使用不可能な場合は、各避難所で行う給水車による支援を利用していただく。

**緑十字機不時着の史実**

**問** 鮫島海岸が戦後平和の発祥地として理解されるために、



緑十字機不時着の碑

どのような情報発信や啓発活動が考えられるか。

**答** この歴史的な出来事が平和に重要な役割を果たしたことを多くの方に理解してもらえよう効果的な情報発信や啓発活動を研究していく。

**問** 子どもたちに緑十字機不時着の史実を知ってもらうことは平和意識向上等にも資するが、市の考えは。

**答** 地域固有の平和教材や郷土の歴史教材、地域人材を活用するなどして学びながら、郷土に対する誇りや愛着を高めていきたい。

**問** 沖縄県伊江村との交流の考えは。

**答** 6年度に職員を訪問させ、まずは平和の観点の交流から始めたい。

## 災害時の水の確保／上下水道等の耐震化



問  
答

志政会 八木 義 弘 議員



### 災害時の水の確保

**問** 能登半島地震の現状から本市の水の備蓄状況の課題は。

**答** 発災時には市内11か所の拠点となる配水池に確保した水を給水車で避難所へ配送する計画としていたため、飲料水の備蓄はしてこなかったが、能登半島地震による被害状況から今後保存年数を考慮し、数年に分けて飲料水を備蓄する方向で準備を進めていく。

**問** 断水の長期化に備え、避難所ごとの分散備蓄の検討は。

**答** インフラの被害により給水車や物資が早期に届かないことが想定されるため、分散備蓄の準備を進めている。既に各避難所への保管スペースに関する調査を進めている。

**問** 小中学校などの給水タンクの配置状況と、今後さらなる整備の考えは。

**答** 非常用給水タンクは指定避難所43か所のうち33か所に設置されているが、老朽化が進み修繕等により維持している状況である。今後は、飲料水の備蓄と併せて非常用給水タンクの更新も検討していく。



**問** 学校プールの水の活用の見解と自主防災会への周知は。

**答** プールの水は各避難所に配備している浄水装置を使い洗濯等の生活用水として活用する想定である。地域防災訓練で住民が主体となり、浄水装置の操作訓練等を実施しており、今後も継続して訓練や研修会を通して自主防災会に周知していく。

**上下水道等の耐震化**

**問** 緊急輸送路を補完する周辺道路上の橋梁耐震化の進捗状況は。

**答** 緊急輸送路の橋梁耐震化は4年度に完了し、現在は緊急輸送路を補完する道路上の11橋の耐震化を進めている。



## 能登半島地震から 教育の無償化と少子化対策について

磐田の底力 柏木 健 議員



問  
答

### 能登半島地震から

**問** 震災時に昭和46年建設の市役所本庁舎が大きな被害を受けた場合の対策は。

**答** 本庁舎は、国が「倒壊する危険なし」とする基準の約2倍の耐震性能となっている。このため、本庁舎に大きな被害はないものと考え、不測の事態が発生した場合には代替庁舎として西庁舎やイプラザを利用する等、被害の状況に応じた対応を行っていく。

**問** 道路に大きな被害があり南部地域から市立総合病院への搬送ができないときの南部地域の医療拠点は。

**答** 南部地域を含め、市内地区ごとに開設する救護所が医療救護活動の拠点となり、救護所では医師などの医療従事者が参集し救護活動を行う。対応できない重傷者は、指定救護病院や災害拠点病院である市立総合病院へ搬送する体制となっている。

**問** 応援隊や救援物資の市内の災害時の拠点は在り方は。

**答** 自衛隊の拠点はかぶと塚公園と豊岡総合センター、緊



とについて、他市の事例を調査・研究していきたい。

**問** 文化財・歴史的資源のPRや観光等への活用を伺う。

**答** 6年度は文化や歴史、魅力ある産業を体験させる温故知新博覧会、略しておんぱく事業を実施する予定である。

### 能登半島地震からの教訓

**問** 液化化現象の危険性をどのように周知していくか伺う。

**答** 液化化現象に対する防災意識が高まっている機会を捉え、個々の防災行動に反映できるように、研修会等で危険性を周知していきたい。

**問** 緊急輸送路の再検証や見直し等の見解を伺う。

**答** 緊急輸送路は、液化化による道路陥没なども考慮した見直しを研究する必要がある。



## 磐田市の公共交通について／磐田市の文化財、歴史的資源の活用などについて／「令和6年能登半島地震」からの教訓について

せいわ会 小栗 宏之 議員



問  
答

### 公共交通

**問** 市内公共交通における課題と改善策を伺う。

**答** 課題は、デマント型乗合タクシーの利用者負担額と公費負担額のバランス、市民の移動手段の維持・充実である。改善策は、デマント型乗合タクシーの利用者負担額や予約システム導入の検討、路線バスの利用促進と併せて新規バス路線の検討を始めている。

**問** これからの公共交通網の形成に対する見解を伺う。

**答** 市内の交通網は鉄道や路線バス、デマンド型乗合タクシーを維持することにより形成していきたい。補完として一般タクシーの維持、地域主体のボランティア運送の支援に取り組み、他市や交通事業者と連携して、ライドシェア導入の研究を始めている。

### 文化財、歴史的資源の活用

**問** 公共施設を再活用し、総合的な学びの場を創出することへの見解を伺う。

**答** 公共施設の再活用や複合施設内に博物館を設置するこ

急消防援助隊は東大久保運動公園、ゆめりあなど5カ所。救援物資は防災備蓄ステーションが拠点となり、集積所として福田支所、竜洋支所など4カ所となっている。救援物資は、避難所への早期配送の必要性から災害時応援協定を締結している民間運送業者との協議も進めている。

### 教育の無償化と少子化対策

**問** 誰も取り残さない義務教育という観点から、給食費や修学旅行等の無償化について教育長の所見を伺う。

**答** 給食費等の無償化は自治体によって異なっていることは認識している。保護者負担の無償化は、国が主体的に対応していくべきと考えている。

## 笑顔溢れる公園づくり／家庭の生ごみ堆肥化推進について

志政会 芦川 和美 議員



問  
答

### 笑顔溢れる公園づくり

**問** 公園が快適に使えるよう維持管理の状況を伺う。

**答** 市内には280カ所の公園があり、11カ所は指定管理者制度で管理・運営している。そのほかは、公園愛護会活動、シルバー人材センター、直営班で維持管理している。年間の管理費は約2億円である。

**問** 新たに指定管理者制度を検討する公園があるのか伺う。

**答** 現在の維持管理状況における課題や要望などを分析し、今後、導入することが望ましい公園を調査していく。

**問** 民間活力を導入した魅力ある公園づくりの考えを伺う。

**答** 大きな公園は、民間事業者による整備・管理手法を調査・研究していく。地域に密着した小さな公園は、地域の方々と共創し、魅力ある公園づくりを推進したい。

**問** Park PFI導入の可能性調査、活用を含め今後の展望を伺う。

**答** 利用状況や課題を把握し、Park PFIの先進事例なども参考に、公園の運営、

維持管理がよりよくなるよう調査・研究を進めていく。

### 家庭の生ごみ堆肥化推進

**問** コンポスト(生ごみ堆肥化容器)の補助制度や利用促進の状況と課題を伺う。

**答** 購入費用の2分の1で3000円を上限に、1世帯で年間2基まで補助している。啓発は広報いわたやホームページ、展示ブース等で行っている。課題はさらなる周知で、利用者の声をSNSで発信することなどを検討していく。

**問** 産官学連携で生ごみ堆肥化を調査・研究する考えは。

**答** これまでも官民連携の取組を進めてきた。今後も生ごみを含むごみの減量化に向けた研究・検討に取り組みたい。



### 一般質問 用語解説



#### ※1 優良田園住宅 (P13)

農山村地域、都市の近郊その他の良好な自然的環境を形成している地域に所在する一戸建ての住宅で、敷地面積300㎡以上、3階建て以下で建ぺい率30%以下、容積率50%以下といった基準を満たすものをいいます。

#### ※2 静岡県パートナーシップ宣誓制度 (P13)

お互いを人生のパートナーとして認め合った二人が協力して共同生活をすることを宣誓し、静岡県がその宣誓書を受領したことを証明する制度です。この制度は、法律上の婚姻とは異なり、法的な効力(相続、税金の控除等)が生じるものではありませんが、婚姻が認められていない同性カップルや、様々な事情により婚姻の届出をしない、あるいはできないカップルの気持ちを尊重し、カップルが抱える生きづらさや困りごとが少しでも解消され、誰もが人生のパートナーとして安心して暮らせる環境づくりを目指すものです。

#### ※3 Park PFI (P16)

官民連携手法のひとつで、飲食店、売店等の公募対象公園施設の設置又は管理と、その周辺の園路、広場等の特定公園施設の整備、改修等を一体的に行う民間事業者を、公募により選定する制度のことです。

# 市議会にご意見をお寄せください ご意見ポストをご紹介します

市議会では、市政の課題全般に対処するため、市民の皆さんのご意見等を聞く広聴活動に取り組んでいます。主な広聴活動は、議員が会場に向いて直接意見をお伺いする磐田市議会「シティミーティング」の開催と、いつでもご意見をお寄せいただける「市議会ご意見ポスト」の設置です。

今回は、市議会ご意見ポストについてご紹介します。「ご意見ポスト」は、本庁舎1階と5階にあります。また、市議会ホームページからお寄せいただくこともできます。

## 本庁舎5階のご意見ポスト



備え付けの記入用紙にご意見等を記入してご意見ポストに投函してください

## 市議会ホームページのご意見ポスト



市議会ホームページの「ご意見ポスト」をクリックするとご意見ポストの入力フォームが表示されます



2次元コードを読み込んで入力フォームが表示されます

いただいたご意見は、希望される方にはお答えしました後、全議員で共有し、今後の議会活動に役立っています。また、市政に関係する内容は、市の所管課に伝えます。

## こんなご意見をいただきました

ここでは、5年4月から6年3月までにいただいたご意見の一部を抜粋してご紹介します。

一般質問の際、議長と市議との間で話し合いをしている際に、どこかから横槍を入れた議員がいました。意見があるならまずはその場で挙手をするか、議長に発言許可を求めるべきではないでしょうか。

また、反問権に対して、市議がSNSで恥ずかしいことだと公表していましたが、これについて議員のモラルは大丈夫なのでしょうか。

こんな状況なら、いつまで経っても市議会だけでなく磐田市はよくなると思いません。

それに、若い世代や移住してきた人が市議会議員を目指そうという気持ちまで潰すだけじゃないかという危機感を抱きました。

どうか、若い世代に希望や議員の成り手が生まれるような議会に生まれ変わるよう、議員の皆さまの気持ちの入れ替わりを心から期待しております。

市役所トイレを、足の不自由な方や洋式に慣れた世代のために洋式に変えたらどうでしょうか。

敷地川堤防決壊による改修について、決壊箇所の改修をすれば川下の同じような場所で新たな堤防決壊が起こらないか心配します。

ゴミカレンダーと自治会のゴミ出しの日が異なります。自治会のゴミ出しの日には出すことができないので、労力と料金を払ってゴミを出さなくてはなりません。ゴミカレンダーどおりに出したいです。

市議会でイスラエルによるガザの攻撃を即時停止するよう日本政府に呼びかける決議をしてもらえませんか。

ご意見ありがとうございました。



©磐田市

## Topics

### 1/11 総務委員会視察 ～外国人児童生徒初期支援教室NIJI～

総務委員会は、ダイバーシティの推進について調査するため、磐田中部小学校敷地内の外国人児童生徒初期支援教室NIJIへ行政視察を行いました。外国籍児童生徒への支援内容などの説明を受け、質疑応答や意見交換を行いました。



### 1/15 民生教育委員会視察 ～袋井特別支援学校・袋井特別支援学校見付分校～

民生教育委員会は、障がい福祉について調査するため、袋井特別支援学校・袋井特別支援学校見付分校へ行政視察を行いました。視察先では、職業教育と卒業後の就職状況などの説明を受け、質疑応答や意見交換を行いました。



### 1/16 議員研修開催

市議会では、予算審議と決算審査の活性化を目的に、議員研修を開催しました。

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科の稲沢克祐教授を講師に、「予算審議・決算審査のポイント」をテーマとして、決算から予算編成への連動や予算審議・決算審査の着眼点などについてオンラインにて講演いただきました。

講演により、予算審議・決算審査に対する理解を深めました。



### 1/23・24 友好都市駒ヶ根市 議会議員の来訪

友好都市提携をしている長野県駒ヶ根市の市議会が、本市を友好訪問されました。

両市における主要事業の情報交換や施設見学等を通じて相互理解を深めました。

今後も一層の友好交流を推進します。



### 2/6 民生教育委員会が シニアクラブ磐田市と懇談

民生教育委員会は、シニアクラブ磐田市と懇談会を実施しました。懇談会では、活動状況や課題等について報告を受けた後、意見交換を行いました。



### 3/21 5年度議会報告会 実施報告書を市長へ提出

実施報告書は、5年度市議会「シティミーティング」での報告内容や意見交換の内容をまとめたものです。市民の皆様からのご意見を市政の参考にもらうため、市長へ提出しました。

市長からは、「二元代表制として、同じ方向を向いて取り組んでいきたい」と話がありました。

なお、実施報告書は市議会ホームページに掲載しています。



# 審議結果

## ■全会一致により可決・同意された議案

- 5年度一般会計補正予算（第9号）
- 手数料条例の一部改正
- 5年度一般会計補正予算（第10号）
- // 国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- // 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
- // 水道事業会計補正予算（第2号）
- // 病院事業会計補正予算（第2号）
- // 駐車場事業特別会計予算
- // 広瀬財産区特別会計予算
- // 岩室財産区特別会計予算
- // 虫生財産区特別会計予算
- // 万瀬財産区特別会計予算
- // 水道事業会計予算
- // 下水道事業会計予算
- // 病院事業会計予算
- 監査委員に関する条例等の一部改正
- 印鑑条例の一部改正
- 手数料条例の一部改正
- 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正
- 子育て支援センター条例の一部改正
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 市営住宅条例の一部改正
- 再開発住宅条例の一部改正
- 水道事業給水条例の一部改正
- 市立学校設置条例の一部改正
- 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正
- 市立総合病院看護師等修学資金貸与条例の一部改正
- 5年度豊岡支所新築工事（建築）請負契約の締結
- 市道の路線廃止
- 市道の路線認定
- 市道の路線変更
- 市税条例の一部改正
- 教育長任命の同意
- 健康づくり及び地域医療を守り育む条例の制定

## ■賛否の分かれた議案

件名	会派名	志政会 9人	せいわ会 6人	新磐田 3人	日本共産党 磐田市議団 2人	公明党 磐田 2人	市民と創る 磐田 2人	磐田の底力 1人
6年度一般会計予算		○	○	○	×	○	○	○
6年度国民健康保険事業特別会計予算		○	○	○	×	○	○	○
6年度後期高齢者医療事業特別会計予算		○	○	○	×	○	○	○
6年度介護保険事業特別会計予算		○	○	○	×	○	○	○
国民健康保険税条例の一部改正		○	○	○	×	○	○	○
介護保険条例の一部改正		○	○	○	×	○	○	○

※公明党磐田の会派人数は2人ですが、採決は鈴木喜文議長を除いた1人で行います。

○：賛成 ×：反対

## ■その他

- 市議会議員の派遣

## 5月臨時会の予定

（5月17日～5月24日）

日	月	火	水	木	金	土
5/5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	6/1

※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。

聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の手配等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局（電話 0538-37-4822、ファックス 0538-37-4845）までお問い合わせください。

## 表紙の写真

磐田東高等学校 3年生  
たなか みゆ  
写真部 田中 泉祐 さん

17歳の誕生日を迎えた友人の姿を撮影しました。青空や芝生、シャボン玉やバルーンなどで明るい雰囲気になるように撮影しました。高校生になり、私は友人とは別の学校へ進学したため、中々会うことはできませんが、この写真を撮影した日のように会って話ができることをとても嬉しく思います。友人の笑顔が輝く最高の一枚になったと思います。



今号の羅針盤では、主に令和6年度予算の審議経過について掲載しています。2月定例会では、皆さんからいただいた税金を市民生活にどのように分配していくのかを審議しました。審議過程をできるだけわかりやすい表現で掲載していますので、目を通すことで関心を持っていただけたらと思います。ご意見等もいただけると嬉しいです。

（芥川栄人）

## 【広報広聴委員会】

- 委員長：永田隆幸 ■副委員長：平田直巳  
■委員：八木義弘、山下千賀子、江塚学、芥川栄人、高梨俊弘

次回は7月1日発行予定です。